

# ふれあい情報

# 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)  
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛  
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11  
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541  
 <e-mail>taisuyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

## 2014年 2 月 6 日(木) 第172号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

### 特定秘密保護法

# 2,566 団体が全国で廃止求める

## 退職者連合 伊吹衆院議長宛に請願書提出へ



安倍政権が、昨年12月6日に国民の声を無視して特定秘密保護法案を強行採決したことに対し、退職者連合は昨年暮れ、全国の退職者連合傘下の中央・地方組織に呼び掛けて「廃止を求める団体署名」運動を取り組みました。その結果、1月31日の第一次集約分として2,566団体から署名が集まりました(写真左、2月6日現在)。寄せられた署名は、民主党の協力を得て、衆議院の伊吹文明議長宛に請願し、安倍首相に届けることにしています。

### 民主党が特定秘密保護法廃止フォーラム開く

## 海江田代表 国会の中と外で廃止に追い込む



民主党は1月21日、憲政記念館で「国民の知る権利」と「報道の自由」を守ろう!と訴えてフォーラムを開きました。集会には衆参両院の民主党国会議員や連合、退職者連合など約350人が参加。主催者あいさつで民主党の海江田万里代表は「自公の暴挙を許さず、国会の中と外で廃止に追い込む」と宣言。今後、国民各界などと連携して国民運動を広げていくことを明らかにしました。

▲「官僚による官僚のための秘密を守ることがこの法の本質だ。何としても廃止を」と訴える海江田代表。フォーラム(写真右)では広く連携して廃止を目指して行くことを確認した。(2日、都内・永田町)

派遣法改悪反対集会第3弾!

# 神津事務局長を先頭に 参加者全員で 労働側委員を激励

連合は、1月17日午前9時20分から霞が関の厚生労働省前で第3弾となる派遣法改悪反対集会を開きました。集会には構成組織から240人が参加。退職者連合からも羽山治美事務局長、菅井義夫・林道寛両事務局次長の3人が参加しました。9回目の審議が行われるこの日、午前10時から始まる労働政策審議会を前に、連合の神津里季生事務局長が「みんなでしっかり支えよう」と労働側委員を激励しました(写真下)。



▲退職者連合も寒さを吹き飛ばして厚労省前集会に参加。(1月17日、霞が関)



連合は1月31日午後、都内・千代田区的全電通労働会館で「強固な社会的セーフティネットを構築しよう!～生活困窮者支援の課題～」と題して、シンポジウムを開き、退職者連合の10人を含む220人が参加しました。講演では宮本太郎中央大学教授が「生活困窮者支援法の意義と今後の課題の解決に

向けて」として基調提起。続いてパネルディスカッションに入り、生活困窮者支援に取り組むNGO、労福協、行政の担当者から現場の実態と課題について報告がありました。コメンテーターの宮本教授は、「結局は、生活困窮者への雇用がないことに行きつく。雇用をどうするか。ここが問題」と指摘しました。

## 連合

生活困窮者支援でシンポ

### 根本は雇用の問題にいきつく

宮本中央大教授が厳しく指摘



▲シンポでは、生活困窮者の雇用や暮らしをめぐる厳しい実態が報告された。(1月31日、全電通労働会館)